

## だけど

Lyrics: メイデレ / Music : Yutaka Kubota

代わり映えない窓の景色  
大体はそうだ 僕の目に映るもの  
面白くない  
でもつまんなくもないような日々な気がしてる

目覚まし止めたのも覚えていない  
寝癖直してる時間も無い  
…もうやだな

だけど  
こんなふうに気を落とした時に限って  
不運が僕を待っているんだろう  
強く生きるのは難しいけど  
少しずつ良い事を探してみよう

だけど  
古いはどれも10位以下  
ラッキースポットは何故か「自分の部屋」  
やる気出した時に限って  
こんな展開ばっかだ

階段で見えかけた  
あのペールの中身が僕の夜を長くする  
機は熟した もうここまでくりや抑えられない  
マイ イマジネーション

「只今ファイルを読み込んでます。」  
「探したファイルが見つかりません。」  
…もうやだな

だけど  
いつか僕にあの娘が振り向いた時  
今のままの僕じゃ何もかもが足りてないから  
とりあえず週刊誌でたまにやってる特集を  
ひたすら立ち読みして脳に刻もう

だけど  
偏った視点に立ったノウハウじゃ  
この複雑な現実の中じゃ通用しないようだ  
「なんてめんどくさいんだ…」って結局手が伸びて  
いつもの夜だ

## fantasy daze

Lyrics & Music : Yutaka Kubota

遠いどこかにいるはずの君の影を  
今日も胸のなかで感じる  
そう想いに耽って何も手につきやしない  
空想上の君に溺れる

憂鬱な夜 心に魚鱗が充滿する  
そんな時 祈るように浮かべる 君の笑顔

可愛い君のこと 今日も想っている  
「今頃なにしてんのかなあ…」 臉の奥で君を探す  
そんな毎日をどうしようもなく繰り返しているんだ  
苦しい でも大切な想いを抱きしめてる

これまで僕が使ってきた公式じゃ  
君をどうにも解けないような気がしてる  
謎を秘めたその瞳に射貫かれた場所が  
心地よく疼いてるんだ

ふとした時 「君に会いたい」と心臓がノックする  
高嶺の花だとしても 登ってみたいくて

ふたりきりのランチタイムを夢見て過ごしている  
食後のコーヒーの香りに混じる 君の匂い  
そんなファンタジーが囁裏で上映してしまいうから  
もういいや このまま衝動に身を委ねてみる

まるで迷宮 惹き込まれていく  
そのペールの向こう 君の透明に包まれたくて

可愛い君のこと 今も想っている  
臉の奥では いつも君が微笑んでいる

ふたりきりのディナータイムを夢見て過ごしている  
素敵なメインディッシュの湯気の向こう 君がいる  
そんなファンタジーを現実で超えてみたいから  
もういいんだ このまま峰へとよじ登っていく  
そう 今日も I'm a crazy for you

## 不平コンプレイン

Lyrics : Yutaka Kubota / Music : Naoaki Minoda & Yutaka Kubota

アツク

貴女にとってのおれの意味って何だろう

誰？彼？

「さあね。」

…まあね、答えは無いだろう

なんてカッコつけて笑って済ませてしまうんだ

本音ってやっぱ恐いから

もう混乱したりして

現実乖離ストーリー観たり

夢に見出すの

本当に手にしたいモンがそこにあるなら

論理 合理 道理…

一通り集められんだろう

ただ今日日 異常に妙に興味持ちちゃうのは

そんな度外視Fightの闘い

もう相談したりして

飲み明かし 不平不満吐き

不意に知っちゃうの

真実の一端を

もう混乱したりして

現実乖離ストーリー観たり

夢に見出すの

もう相談したりして

飲み明かし 不平不満吐き

不意に知っちゃうの

真実の一端を

現実へ還るの

…って夢に見出すの

## ラフストーリー

Lyrics & Music : Yutaka Kubota

思い出したら ふとニヤって笑みが零れた

曖昧に仕舞った記憶がボンと弾けた

そんなふうに 美化した物だけ集めてんだ

ひとつずつ手を加えながら 俯瞰で自分を笑ってる

夢が終わって 迎えた夜明け

イメージと違うような朝陽に目を窄めるけど

どんなふうに 僕は君のなかで生きている？

二度と戻れない時の中を 僕ははゆく

いつの日か 僕とみた景色も忘れ去るの？

繋いだ指の隙間 零したモノが軌道を描く

些細なことで 上昇・下降を繰り返してしまうんだ

中册でいられりや良いつてことはわかっているけど

出来ることなら 「良い思い出」 としておきたいけれど

心の風向き次第では 多様に解釈は変わるぞ

今日が終わって 閉じたカーテン

いつもより少し濃い暗闇を求めてしまうけど

こんなふうに 僕のなかで君は生きている

一度も色褪せない微笑みを そっと僕に向ける

いつまでも 君とのストーリーはここにあるの？

歪んだ道程が描く過去を 僕は駆ける

どんなふうに 僕はこの想いを描けばいい？

ぼんやり揺れてる この記憶の色を探す

いつまでも こんな自問自答を繰り返すの？

それなら君は白 僕は黒のモノクロで描くよ

こんなふうに 僕のなかで君は生きていく

幾度も変わっていく 下書きの世界を抱く

いつまでも 君とのストーリーはそこにあるの

不完全な愛を描く 歪んだ軌道を背にして駆ける

## イージー

Lyrics: Kota Anno / Music : Yutaka Kubota

6月の雨はいつだって 春の余韻を流していく  
その頃の僕はいつだって 閉じこもってばかりいる  
6月の雨はいつだって きれいなものを濁していく  
その頃になれば僕だって 少し晴れやかな顔をしている

背中が見えたから飛びついて 躓いた拍子に抱きついた  
あのままもたれかかっていたら 引きずってくれたのかな

言いたいことはもつとあるよ そっちにもまだあるんだろ  
「先に言った方が負け」そういうゲームでしょ 笑えないな  
泣きたい夜だってあるよ 泣けない夜はもつとあるよ  
ええ簡単じゃないんだ 簡単じゃないんだ

7月の空はいつだって 澄みきっては広がっていく  
それなのに僕はおかしいね 足元ばかり見つめている

偶然途中でぶつかって 「このままご一緒しませんか」って  
本当は行き先も違うのに どちらが我慢してたんだろうな

言いたいことはもつとあるよ そっちにもまだあるんだろ  
「先に言われたほうが負け」そういうルールなら 笑えるんだろ  
思い出すこともあるよ 思い出せないこともあるよ  
ほら簡単なんなんだ 簡単なんだよ

あてなどないままふらついて 宛名の無い手紙を書いた  
差出人なら誰でもいいよ 「ハロー そっちはどんですか」

言いたいことはもつとあるよ そっちにもまだあるんだろ  
先に言わせてあげただけ そんな僕はなに燃ってんだろ  
思い出さなくなっちゃえば 思い出さなくなっちゃえば  
「先に忘れた方が勝ち」そういうことで きょうなら  
泣きたい夜は泣いていいよ 知らないところで さあどうぞ  
まあ簡単に見えるけど 簡単じゃないんだ  
簡単じゃないんだ

## テラズ

Lyrics & Music : Yutaka Kubota

懐かしい写真 眺めてみたら  
あの頃の背景画みたいいな景色が 脳にふわつと浮かんだ  
「ああ、あの頃に戻れたら…」なんて ありふれた想いは  
秒針が刻む足音に そつと掻き消された

朝が来れば また今日が 戻れぬ過去になって  
あなたのいない景色が またひとつ 記憶に刻まれてしまうなあ

「今」は「明日」を減らし 「昨日」を増やしていく  
そして日ごとに 「昨日」の輝きが 増してみえていく  
臉の間の奥に あの日が広がる  
また逢えたら 話そう 同じ過去を肴にして  
そしてまた 眺め合おう  
知り合えた景色を

取るに足らない 小さな「再会」と「別れ」を  
繰り返した末に 最後の「さよなら」が来るんだな  
それがいつか 僕らは知る由もないけど  
この繰り返しの日々を 僕らは「思い出」って呼ぶんだな

人知れず涙流す時も この先は増えていくのかな  
気が向いたらでいいから その時は愚痴でも 僕に話してみてもよ

あなたの心のなかで 眠る景色  
その幾つかは きつと僕も 同じものを持っている  
いつかあなたが 新しい景色に 戸惑った時は  
思い出してね 目を閉じれば広がる その景色も  
初めは 新しい景色だったことを

この先 互いに知り合えぬ景色は 増えていくけど  
それぞれが別々にはじめた物語 いつかまた同じページの上で…

僕らの心のなかで 輝く景色  
そのどれもが きつと僕らの それぞれの「明日」を照らすだろう  
「別れ」と「再会」の隙間を 僕らは歩いていく  
また逢えたら 話そう 同じ光を目印にして  
そしてまた 歩き出そう  
知り合えぬ景色を